

# イランさまざま (2)

金子 徹一

## バザール

バザールという言葉は広く用いられているらしい。インドネシアでも 市場のことを バザールと呼んでいた。中国語では「スーパーマーケット」である。テヘランのバザールは下町の北部 つまり町の中央から少し南の付近にある。内部は大体幾つかの専門店街に分かれており 通路は狭く その上いっぱい屋根があって所々に明りとりが見える。屋根は日本のように雨に対してでなく 日よけのためのようである。

私が歩いた範囲では繊維品 雑貨 金細工 靴 ジュウタンなどの専門店や問屋がならんでいた。ジュウタンはペルシャ・ジュウタンの名で世界的に有名であり 1平方mが数万円のもが山と積んである。

この市場のイランにおける勢力は大したものだそうで 王様も一目おいている。日本の商店街でも寺院の門前町から発達したものがあのようにこのバザールもモスク(寺院)を中心としている。バザールの中の大きなモスクにはいと 中庭に池があり 鯉が泳いでおり ハトが遊んでいた。

## 地球物理研究所

テヘラン大学に付属し 所長は Dr Afsher である。この研究所には 理科大学の今道博士 京都大学の東中博士 気象研究所の末広博士がそれぞれ地球磁気 重力 地震の研究を担当され イラン人を指導しながら観測設備の整備をされている。今日では それらの結果も学

界に発表され その功により所長の Absher 氏は王様から勲章をいただいたそうである。

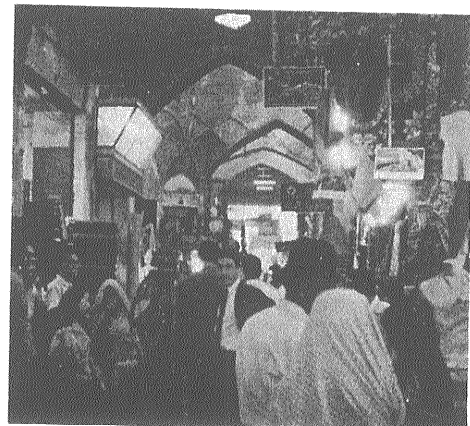
こう書くと 3氏の仕事がいかにスムーズに運んでいるようであるが ここまでするのに 3氏の苦労は大変なものであったという。一般に観測事業というものに対するイラン人の認識はすこぶる低く 早く世界的の研究成果を出して大いに国威を發揚したいという所長をなだめながら 地道に仕事を約2年間続けてこられたわけである。どうも 3氏のお話を伺っていると日本人が帰ったあと この仕事が円滑に進んで行くかどうか疑問に思われるが たとえどうなろうと 3氏のテヘランの地にまいた種は新しいイランの文化に貢献するに疑いない。

## テヘランは インターナショナル

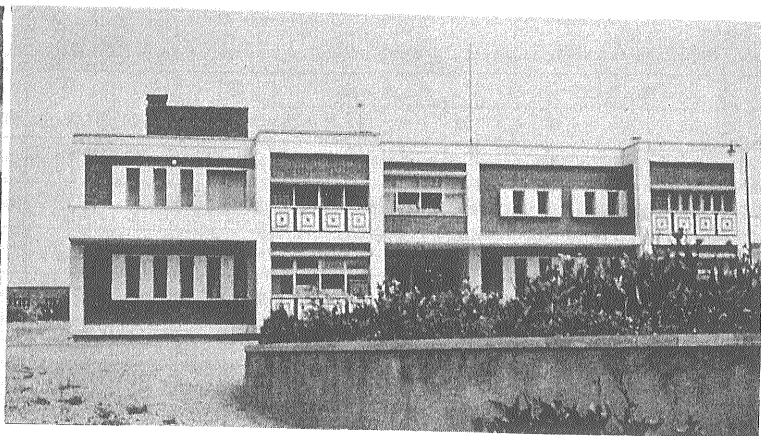
テヘランの通りには全部名まえがついていて ○○通りというわけであるが これをクラバン (Hhoravan) ○○と呼ぶ。私の住んでいたホテルはクラバン・フォルサート (K. H. Forsat) で 外に出て道が判らなくなったらタクシーを止めて「クラバン・フォルサート」といえばよい。フォルサートというのはだれの名まえか知らないが このまちの通りには外国の著名な人たちの名まえが多い。中央の一番立派な道はシャー レザー (シャーは王様 レザーは先帝の名まえ) であるが その道が飛行場に延びる道はアイゼンハワー通りである。

中央に水道があり 散歩道のついた美しい道はクイン・エリザベス通りで この外にルーズベルト スターリン等政治家の名まえから ゲーテ インドの文豪タゴールなど その他まだあるらしい。

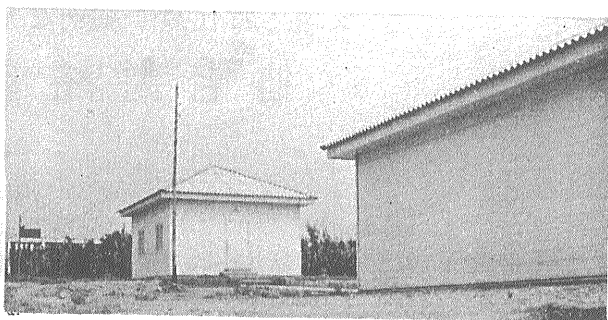
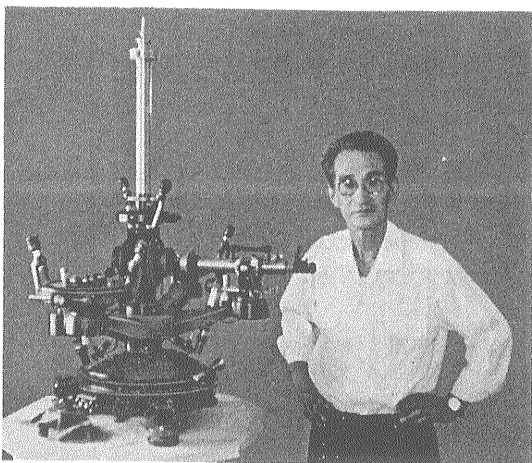
鉱工業省に勤務する フランスに留学したことのある若い地質学者は以上の名まえをあげ また この役所には 米 英 独 仏 それに 日本人がいることを述べ “Tehran is International!” と叫んだ。私は思わず笑ったが その笑は次第に暗い気持ちに変わったのを思い出す



バザールの内部



テヘラン郊外にある地球物理研究所



地磁気の観測室

←  
観測室の内部装置  
と今道博士



重力研究室で東中博士



← クイーン エリザベス通り  
左の水道をはさみ広い散歩道がつづいている。その外側は自動車道路でさらに外側に人道がある。水道があるので夏の夜は涼を求めて市民がこの道を散歩する。

ゴーンガン クラブ →

樹木の茂ったクラブのプールは真夏でも涼しい。このクラブは外人（主として独・英・仏・日など）とイランの金持階級を会員にしておりこの外にテニスコート食堂などがある。夜はダンス・映画・ビンゴなどをする。

一般用プールは一つあるそうだが入場料は相当高価だそうだ。

